



姉妹都市ニュープリマスから スポッツウッド校生徒ら来島

2025年4月17日～21日

2025（令和7）年4月17日～21日、ニュージーランドの姉妹都市ニュープリマス市にあるスポッツウッドカレッジの生徒9人と引率の先生2人が来島しました。18日には三島南中を訪れ、2年生の生徒達と楽しく交流しました。日本の授業の様子を見学した後、図書室で実施した英語や社会の授業では、小グループに分かれてお互いの国の文化を伝え合い学び合いました。またグラウンドで実施した体育の授業では、「まわれ右」の動作を一緒に体験。体を動かしながらコミュニケーションをとって、笑顔が飛び交う時間となりました。さらに給食を一緒に食べた後は、校庭でバレーボールやバスケットボール、



キャッチボールなど楽しみながら交流を深めました。



温水池で富士山を眺め、市長を表敬訪問した後は、初めての染め物体験です。市役所から歩いて東本町の遠州屋さんまで移動し、日本の染め物を初体験。遠州屋さんがこの日のために用意してくださったオリジナルデザインのミニ大漁旗に、伝統的な手法で、専用の染料を使って着色していききました。スポッツウッドカレッジの皆さんは、自己紹介の際に、半数以上が「好きな科目は美術です」と言っただけあって、刷毛を使って濃淡をつけながら着色している間、ずっと楽しそうに作業に没頭している姿が印象的でした。着色して出来上がったミニ大漁旗は、送別会に間に合うように仕上げてくださり、素敵な三島のお土産となりました。



20日には、順天堂大学にて送別会が行われ、参加者全員でゲームをしたり、マオリ語で校歌などを歌って、ホストファミリーと共に三島の思い出を発表してくれました。



三島市国際交流協会総会開催



平出利之会長

2025(令和7)年度三島市国際交流協会総会が、5月8日(木)、みしまプラザホテルにて開催されました。冒頭、平出利之会長が挨拶をおこない、「昨年度の事業はおおむね予定通り実施されました。新たなこととして、武術交流訪問団を麗水市に派遣しました。今年度には、こちらへ来訪いただき、交流の促進を図る予定

です。子どもたちの交流にも、引き続き注力していきますが、新たな交流の形にもチャレンジしたいと思います」と述べました。

来賓の豊岡武士三島市長、堀江和雄三島市議会議長の祝辞のあと、議事に入り、令和6年度事業報告、決算報告、会計監査報告、令和7年度事業計画案、予算案の審議が行われ、全議案とも原案通り承認されました。総会終了後には、懇親会が開催されました。



総会の様子



懇親会の様子

2025年度の主な事業(7月以降)

- ・パサディナ市フレンドシップ受入(7月末)
- ・夏期語学講座(中国語・韓国語・スペイン語)(7月~8月)
- ・〜食でつなぐ国際交流(ルーマニア料理)〜(8月3日)
- ・日本語の教え方講座(9月~12月)
- ・英語スピーチコンテスト(10月18日)
- ・麗水市武術太極拳交流会(10月19日)
- ・オータムフェア(11月2日)
- ・国際理解教育・出前講座(11月、2月)
- ・ニューブリマス市・麗水市教師交流
- ・中国語スピーチコンテスト(12月7日)
- ・新春交流事業(1月25日)

※詳細については、MIRA 通信やホームページなどでお知らせします。
※諸般の事情により、中止や内容を変更することがあります。

第24回

フラワーアレンジメント講座開催

2025(令和7)年3月2日(日)、三島市民生涯学習センターにおいて、第24回フラワーアレンジメント講座が行われました。今回は、中国、ルーマニア、アメリカ、カナダ、それに日本の5カ国の方が参加し笑顔あふれる空間となりました。

花をいける前には春の色のイメージや、各国の春の花について意見交換しました。アレンジメントの花は、ユキヤナギ、リュウコギリネなど6種類。どれも春を感じる優しい色合いのお花です。参加者それぞれが工夫を凝らしたアレンジメントで、個性的な“春の風を感じる作品”ができあがりました。



第32回

国際交流フェア

5月18日(日) さんしんみゆうくんホール

2025(令和7)年5月18日(日)「さんしんみゆうくんホール」にて、第32回国際交流フェアが賑やかに開催されました。ステージパフォーマンスは、「飛龍高校和太鼓部」による圧巻の和太鼓演奏で幕を開け、フラメンコの華麗な踊りとリズムは、来場者の皆さんを遠くスペインに誘い、チアリーディング「CHEERS FACTORY」は素晴らしいパフォーマンスで会場をひとつにして盛り上げてくれました。タイ舞踊は、静かな動きの中で、手や指先による心象の表現が何とも優雅で、皆さんを魅了しました。また、今年も「みしまる

くん、みしまるこちゃん」が会場に来てくれて、訪れた皆さんとふれあいました。会場の各ブースでは、ウクライナ出身、原アンナさんの作品販売、順天堂大学学生による「やさしい日本語」活動の紹介、くじ引きコーナー、カワセミバッジの販売、MIRAの活動をパネルで紹介、そしてパサディナ山火事被災者支援のトートバッグや耳つぼジュエリーの販売も行われました。料理コーナーにはブラジル、コロンビア、フランス、タイの料理屋台が並び、訪れた皆さんが舌鼓をうっていました。



市立小中学校に図書を寄贈



毎年恒例となっている図書の寄贈のため、平出利之会長ほか役員が、4月24日、三島市教育委員会を訪れ、小塚英幸教育長に市立小中学校21校分の本を手渡しました。この本は、「ニュースがわかる世界地図」(昭文社)というもので、地図ばかりでなく、世界の情勢、国際ニュース、時事問題などを、写真や表を使って分かりやすく解説しており、楽しく教養が身につく図書です。学校の図書室でも子どもたちに人気があり、とても役立っているそうです。これは、協会が保有する国際交流振興基金を活用して行っている事業で、今年で21回目となりました。



James Molloy - MIRA Newsletter #43

JIMのみしまものがたり④3

みしまコロッケと世界を繋ぐ外交官

うーん、じゃがいもって美味しいですね。

MIRAの読者の皆さんにとって、「熱々のじゃがいも」と聞けば、あのサクサクの衣とクリーミーな具がたまらない、地元名物のみしまコロッケを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。今回のMIRA133号では、私が最近参加したみしまコロッケツアーについてご紹介させていただきます。8人の仲間とともに地元のお店を訪ね歩き、さまざまなみしまコロッケを味わう中で、ふと気づいたことがありました。それは「じゃがいも」が、実は人類史上もっとも偉大な人道主義者であり、文化の架け橋を築いてきた外交官なのではないか、ということです。ここでは、私たちの食生活の縁の下での力持ちである「じゃがいも」に敬意を込めて、Mr.Spuddy (spud…じゃがいものカジュアルな言い方) と呼ぶことにしましょう。

「Mr.Spuddy」は数世紀に渡り世界中を旅してきました。そして、訪れたあらゆる土地に自然に溶け込み、食文化にも受け入れられてきたのです。Mr.Spuddyは、米、小麦、トウモロコシと並び世界中で食べられている主食の一つです。

Mr.Spuddyは、ただの旅人ではありません。南米アンデス山脈を故郷とする彼は、16世紀にヨーロッパへ渡り、栄養豊富なその身で多くの飢饉を救ってきました。1598年には、ジャカルタ経由でオランダ商人によって日本に持ち込まれ、「じゃがいも（ジャガタライモ）」と呼ばれるようになり、やがて日本中で親しまれる存在となりました。どこへ行っても、Mr.Spuddyはその土地

に合わせて姿を変えながら、自身の「でんぶん魂」はしっかりと守っています。たとえば、イタリアのニョッキ、ポーランドのピエロギ、インドのサモサ、そして私の故郷カナダのニューファンドランドでは、塩ダラとじゃがいもで作る「フィッシュケーキ」が家庭の味です。Mr.Spuddyの外交力は、その柔軟性とたくましさにあります。ほとんどどんな土地でも育ち、農業に依存する地域では食料供給の安定に貢献し、人々の争いや不安を和らげてきました。人口増加を支え、人々をより健康に。イギリス・ウォーリック大学の歴史学者レベッカ・アール教授によれば、自由資本主義の発展にも一役買ったとされています。



さて、話をみしまコロッケツアーに戻しましょう。あるお店のコロッケはホクホクと、また別の店では甘くてコクのある味わい。そして、どの店でも共通していたのは、Mr.Spuddyが生み出す「笑顔」でした。この小さな旅で私が気づいたことは、じゃがいもはただ私たちのお腹を満たすだけでなく、その美味しさを囲む人々の心を結びつけ、その喜びを分かち合う存在なのだということ。

この静かな外交官、私たちの愛すべきMr.Spuddyは、控えめながらも確実に、世界をやさしく結んでくれています。そして今日も、どこかの食卓でホクホクとあたたかな笑顔を生んでいるのかもしれないね。

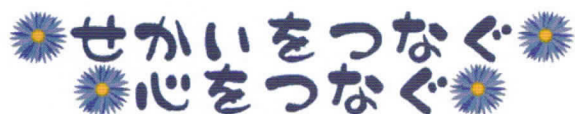
パサディナ市とのオンライン交流会参加者募集

日時・場所：2025(令和7)年9月7日(日) 13:00~14:30頃、Zoomでの参加または市役所会議室

対象・定員：MIRA会員 10名程度(応募多数の場合は抽選) 参加費無料

内 容：パサディナ市側で姉妹都市交流を支えているブライアン・タケダ氏をはじめ、パサディナ国際協会員等のみなさんと、英語と日本語のことば遊びクイズやゲームをとおして交流を深める。

申 込 み：右のQRコードからの電子申請または、電話かメールで氏名(ふりがな)・電話番号、メールアドレス(Zoomで参加の方は必須)、参加場所を、8月4日(月)までに三島市国際交流協会に提出。



三島市国際交流協会

申込み・問合せ

★ 三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020 FAX 976-1021

★ 三島市国際交流室
TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



▲ホームページ